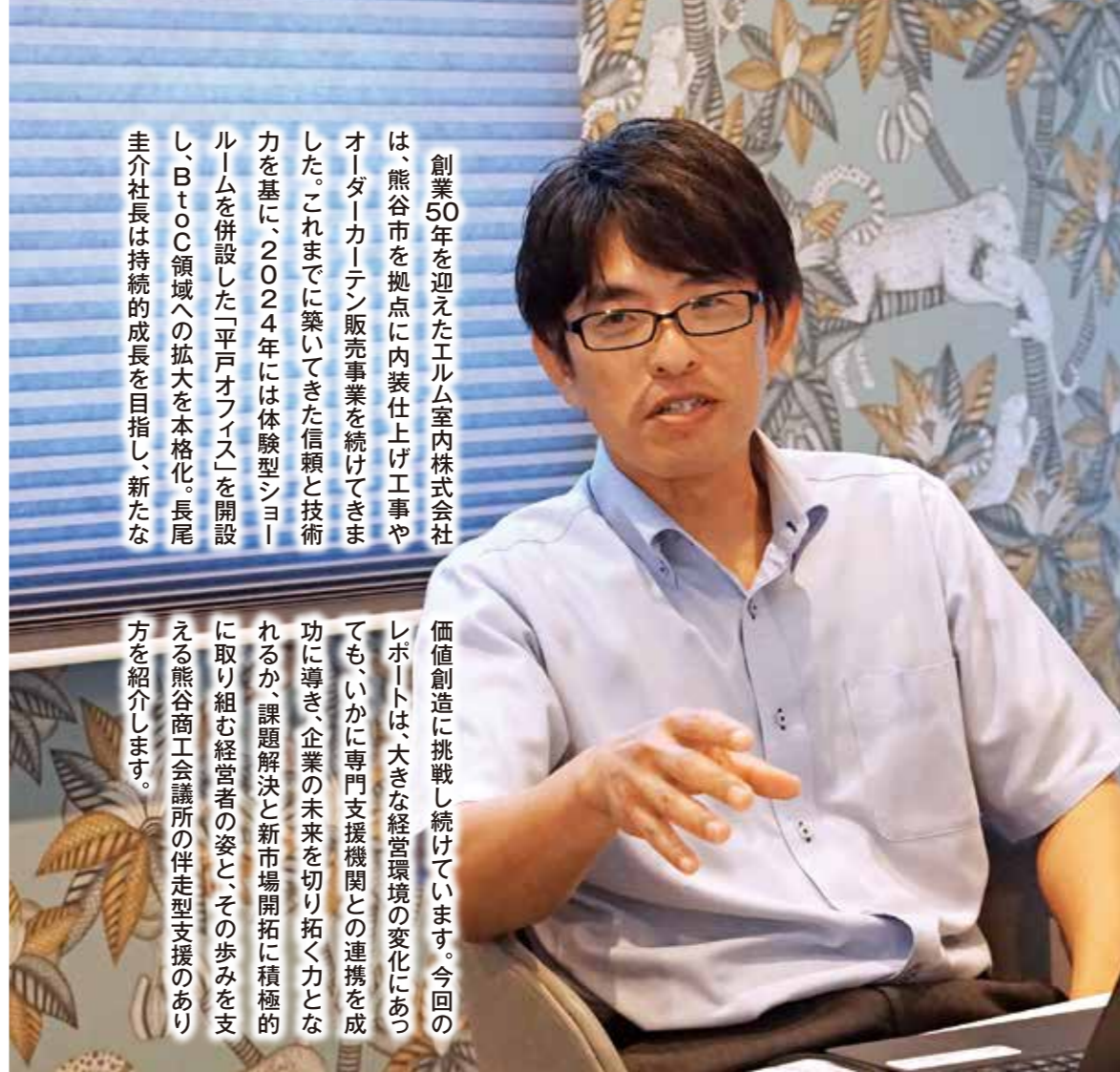


# 創業50年、 信頼を力に新たな挑戦へ

エルム室内株式会社



創業50年を迎えたエルム室内株式会社は、熊谷市を拠点に内装仕上げ工事やオーダーカーテン販売事業を続けてきました。これまでに築いてきた信頼と技術力を基に、2024年には体験型ショールームを併設した「平戸オフィス」を開設し、BtoC領域への拡大を本格化。長尾圭介社長は持続的成長を目指し、新たな

価値創造に挑戦し続けています。今回のレポートは、大きな経営環境の変化にあっても、いかに専門支援機関との連携を成功に導き、企業の未来を切り拓く力となるか、課題解決と新市場開拓に積極的に取り組む経営者の姿と、その歩みを支える熊谷商工会議所の伴走型支援のあり方を紹介します。

## 新たな成長 顧客の声にこたえる

1974年の創業以来、半世紀にわたってカーテン販売と内装工事業を展開してきたエルム室内株式会社。長尾圭介代表取締役は3代目として、先代が築き上げてきた信頼のバトンを受け継いでいます。祖業であるカーテン販売や地場工務店の新築内装工事に加え、近年は医療・福祉・教育施設、官公庁などを顧客とする非住宅施設のBtoB内装リフォーム事業を展開し、堅実な経営基盤を築いてきました。同社の強みは、長年の実績に加え、2級建築士やインテリアコーディネーターをはじめ、窓装飾プランナー、壁紙スペシャリストといった多彩な有資格者が在籍する専門性の高さ。住宅や店舗、オフィス、また教育施設といった幅広い建物の内装設計から施工、新築の内装仕上げ工事、窓装飾品の工事、室内装飾品の仕入販売までを一貫して手掛けられる技術力。この高い提案力と技術力で、顧客から厚い信頼を得てきました。

一方で、企業として持続的な成長を遂げるためにはこれまでの実績や強みを生かした新たな事業展開が必要と考えていました。

同社は八木橋百貨店で30年以上、オーダーカーテンの販売を通じてお客様に窓辺



の彩りを提案してきました。しかし、もう一つの主力事業である内装材（壁紙や床材等）については魅力が十分に伝えられていない課題もあつたのです。打ち合わせではカタログのサンプルが写真での確認だったため、お客様から「もっと大きなサンプルで確認したい」「実物に触れてみたい」という声もありました。また、メーカーのショールームは都内に集中し、県内で気軽に体験できる場所がなかったことから、お客様が実際に見て触れられる体験型ショールームを開設し、同社の強みを活かした新たなBtoCの住宅リフォーム事業を展開する必要があります。この構想を実現すべく、事業再構築補助金を活用して、お客様の理想の空間づくりをサポートする新たな歩を踏み出しました。

## 熱意と迅速な行動力が人を動かす

普段から、会議所のメルマガ「Bizくま」をチェックし、不明点を担当者へ問い合わせたり、建設業部会研修事業へ積極的に出席、必要な研修やセミナーを見つけては社員と共に参加するなど、情報収集を怠らず、他事業者とのつながりを重要視する長尾社長。事業再構築補助金の申請でも、突破口となつたのは長尾社長の「主体的な事業推進力」と「アクションに対する柔軟な対応力」でした。

よろず支援拠点の利用の為に事業計画書や申請書類を用意し、経営指導員からのアドバイスやフィードバックに素早く反応する実行力を発揮。担当者は「プロジェクトの進行管理も自発的に進め、ショールーム開設のために進捗されていました」と振り返ります。結果、申請2千万円が採択され、2024年7月、体験型ショールームオープンを実現したのです。

「平戸オフィス」は、「見て・触れて・体感する」インテリアの新しい価値体験を提供するために開設した専門施設です。店内そのものが実物大のサンプル空間となっており、壁紙や床材、カーテンといった内装素材が実際の施工例として展示されています。完全予約制で、来店者は自由に「見て・触れて・楽しむ」ことができ、空間づくりのイメージを直感的に膨らませることが可能。国内外のハイブランドからリーズナブルな商品まで1000点以上のプロが厳選した多彩なラインアップが揃い、サンプル帳やカタログも充実。2級建築士やインテリアコーディネーター、窓装飾プランナーなど多数の有資格スタッフが常駐し、個人住宅だけでなくオフィス・医療・介護・教育施設まで幅広いリフォームニーズにワンストップで対応しています。

## 伴走支援で 多角的にサポート

長尾社長は「今後は、体験型ショールームを核としたBtoC事業を本格的に軌道に乗せることが目標」と意気込みます。商工会議所との連携を継続し、小規模事業者持続化補助金など各種補助金も活用しながら、さらなる認知度アップと集客強化を図る予定です。

熊谷商工会議所の「伴走型支援」は、外部専門家とのネットワークを結び、情報発信や集客のノウハウ導入も実現。社外資源の活用だけでなく、定例交流会やネットワーク構築による新規ビジネス獲得にも直結し、持続的な成長サイクルを創出します。同社は会議所を「学びと繋がり」の場として徹底活用することで課題解決の糸口を見出しました。専門家の知見や他業界の事例を積極的に学び、経営や業務の仕組みを柔軟に取り入れる姿勢が、事業成長の加速へ寄与したのです。

地域に愛され、信頼される企業として、エルム室内株式会社は、これからも歩みを続けます。「自社の課題や目標を積極的に開示し、会議所の機能やネットワークを最大限活用し続ける積極性」が、持続的成長の大きな鍵となっていることは、間違いありません。



### エルム室内株式会社

代表者名 長尾圭介  
事業内容 リフォーム業、内装仕上工事業、窓装飾品、インテリア雑貨の仕入・販売業  
所在地 熊谷市平戸226-3  
営業時間 10:00~18:00  
TEL 048-501-5513  
休日 日・月曜日・祝日  
URL <https://elm-interior.jp/hirato/>

